



# 初！先輩がカンボジアから伝える オンライン出前講座

作成：上下水道局海外事業課 発行日：令和3年1月13日



上下水道局では、小学校から大学まで幅広い世代を対象に、海外事業をテーマとした出前講座を開催しており、本市の上下水道事業や国際技術協力への理解促進を進めています。

今回、**北九州工業高等専門学校（以下、北九州高専）のグローバルエンジニア育成事業と連携**して、昨年12月24日にオンライン出前講座を実施しました。北九州高専では、海外での活躍を視野に入れた人材を育成するため、海外協定校との交流活動や外部講師の招聘など、学生のモチベーション向上や国際意識の育成を図る様々な教育をしているそうです。

「**学生が世界的な問題を自分事として考えるようになって欲しい**」、「**学生が北九州市に誇りを持つようになって欲しい**」という先生方の期待に応えるため、北九州高専出身の海外事業課職員が、**カンボジア現地から、母校の後輩たちにエンジニアが海外で働く意義や魅力を語りました。**

今回、講義を行った海外事業課職員は、カンボジア入国後に義務付けられる14日間の隔離期間中のため、ホテルからの講義でした。**コロナ禍の状況下でも現地に出向かないといけない、海外事業の意義と必要性を、**現地の水事情や体験談を織り交ぜて、熱く語りました。そして、最後に、「英語をしっかりと勉強して欲しい」、「高いアンテナを張って欲しい」といった**先輩から後輩への力強いメッセージ**で締めくくりました。

質疑応答の時間では、**先輩にしか聞けない公務員の懐事情から、先輩の顔を引きつけてしまう専門的な質問まで、**学生からたくさんの質問があり、とても盛り上がりました。日本とカンボジアの4,000kmの距離を感じさせない、密度の高いオンライン授業となりました。

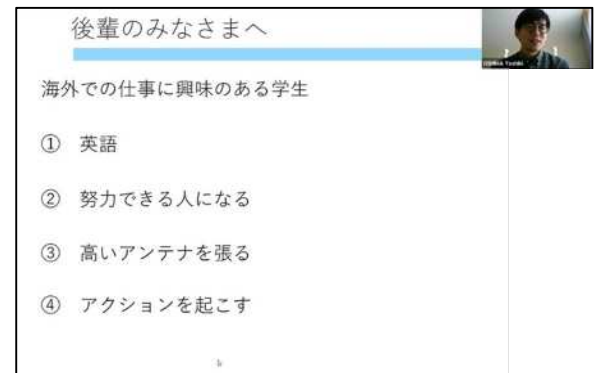
幅広い学年・専門の学生に海外事業を知ってもらうため、**1か月の間に4回に分け、合計約350名の学生に対して講義**を行います。将来の日本を担うエンジニアの成長の一助になれば、と思っています。

海外事業課では、今後も市内の学校への出前講座などの機会を活用して、**上下水道分野での海外事業の意義・魅力を若い世代に伝え、**水分野での活躍や北九州市の産業振興への興味・関心を高めていきます。

報告者：上下水道局 海外事業課 田島 俊英



カンボジアから講義する海外事業課職員



先輩から後輩へのメッセージ



プロジェクターが3台あり充実した設備  
スムーズにオンライン講座が進行できました。



校内掲示板に、海外事業のパンフレットが  
掲示されました。このパンフレットを見て、  
質問をしてきた学生もいました。